

一般社団法人 群馬県診療放射線技師会

# 群放技 会報

## 第78回定時総会(平成29年度事業報告・決算総会, 平成30年度事業計画・予算)報告

平成30年5月25日(金)群馬県立県民健康科学大学にて、第78回定時総会が行われた。

総会に先立ち、目崎表彰委員長より、平成29年度日本診療放射線技師会 功労表彰者、及び平成29年度日本診療放射線技師会30年永年勤続表彰者、平成29年度群馬県診療放射線技師会勤続20年表彰者の報告があり、続いて平成29年度群馬県診療放射線技師会勤続20年表彰の代表として、原田 覚 氏に表彰がなされた。

議案審議に先立ち、総会運営委員長の中山 正人(ソフィアクリニック)より、出席会員数32名、委任状提出者数308名で、定款第17条の規程を満たし本総会が成立することが宣された。議長に林 則夫氏(群馬県立県民健康科学大学)が選任され、執行部一任により書記に狩野 めぐみ氏(群馬県立心臓血管センター)、議事録署名人として米持 圭太氏(群馬県立県民健康科学大学)、渡部 晴之氏(群馬県立県民健康科学大学)が任命された。議長より、平成29年度事業報告・決算報告について審議に入る旨があり、平成29年度の経過報告として後閑会長より一般経過報告がなされた。その後、各専門部部長より、専門部・委員会報告がなされた。会計決算報告、事業会計監査報告と続き、質疑応答を経て、賛成多数の拍手により承認された。続いて、平成30年度事業計画・予算について審議に入る旨が宣せられた。一般事業計画、専門部・委員会事業計画、平成30年度会計予算報告があり、質疑応答を経て、賛成多数の拍手により承認された。

## 福島第一原発20km圏内ツアーに参加して

国立療養所 栗生楽泉園 川上 裕

2017年11月25日(土)・26日(日)に後閑会長、中山前副会長、川上で福島県相馬市にて福島第一原発20km圏内の見学をしてきました。前橋市から相馬市まで北関東自動車道、常磐自動車道を乗り継ぎ340km、約4時間の長旅でした。福島第一原発20km圏内の見学では26日9時に特定非営利活動法人 野馬土の天野さんと待ち合わせをし、車で相馬市、浪江町、双葉町、大熊町、富岡町を巡ってきました。

相馬港・松川浦港などの沿岸部では津波を防ぐための7mの高さの堤防がひたすら作られていました。しかし天野さんは福島原発を襲った津波は高さ14mであり、その規模の津波が来た場合全く役に立たない物を、お金をかけ景観を崩し作っており、国は対策を行ったと言う事実を作りただけで役に立つかどうかは関係ないとおっしゃっていました。また津波により一面何も無い状態となった所には、見渡す限りソーラーパネルが設置されており、ある意味殺風景でした。

次に最近になって四輪車のみ通行できるようになった帰還困難地域である浪江町と双葉町に行きました。車内で天野さんが持っている線量計で測ったところ、 $4\mu\text{Sv/h}$ 以上を示す場所もありました。帰還困難地域では通って良い道以外は全てバリケードがしてあり、道沿いにある住宅の玄関先にまでバリケードがなされ、異様な雰囲気でした。道路を走っていて見える景色はススキと除染で出たフレコンバック。空き地と言う空き地にはススキが生え、広い場所に黒い廃棄物の山・山・山。学校の校庭までもススキが生えている状態でした。

また帰宅が許可された地域でも多くて3割程度、浪江町では2%の帰還に過ぎず、お昼ご飯を食べようと思ってもお店はやっておらず、コンビニも平日は東電の作業員がいるため営業しているが、土・日は休業という店舗がほとんどでした。近所に住民がおらず、生活できるような環境でないところに除染が済んで線量が下がったから帰っていいよ！と言われてもそれは無理！と実感しました。浪江町で国に立ち向かい希望の牧場を経営する吉沢さんは「サヨナラ浪江町」と訴えています。このままでは浪江町や双葉町は無くなってしまおうのでしょうか。



4年ほど前に前職場関係で福島県いわき市の津波に襲われた場所を見学に行った時には、まだ復興もしておらず“本当にひどい”と思いましたが、今回の原発事故での放射能汚染地域では、町や住宅はあるのに誰もいない生活感の無い地域は何とも言えない感情でした。

現在いくつかの原子力発電所が再稼働に向けて審査請求を出しており安倍政権は原発を推し進めていますが、津波の部分の復興より原発事故での復興は遙かに大変なんだと感じました。

今回、福島第一原発20km圏内を見学し、テレビなどの報道での内容と現地に行って、見て、感じたことはかなり開きがあったように感じました。一度見学に行ってみては如何でしょうか。

## お知らせ

### 第10回 業務拡大に伴う統一講習会開催についてのお知らせ

群馬県診療放射線技師会では県内10回目となる業務拡大に伴う統一講習会を下記の通り開催致します。今回は東毛地区での日曜日2回の開催となります。土曜日に業務のある技師の方にも受けていただけるように計画を致しました。法改正による講習会で全ての放射線技師が受講対象の講習会です。H32年で講習会は終了となりますので、早めの受講をお願いいたします。

#### 記

日 時:平成30年10月21日(日)、10月28日(日)

場 所: 邑楽館林医療事務組合 館林高等看護学院

受講料: 日本診療放射線技師会員 15,000円

非会員 60,000円

定 員: 41名

申込方法: JART情報システムよりログインし、イベント参加申し込みより検索し、申し込んでください。

詳しくは群馬県診療放射線技師会ホームページをご確認ください。

### 2019年度 関東甲信越診療放射線技師学術大会のお知らせ

日 時: 平成31年6月29日(土)、30日(日)

場 所: 一橋大学一橋講堂

大 会 長: 篠原健一(公益社団法人東京都診療放射線技師会長)

詳細が決まり次第、お知らせいたします。

# 平成30年度 群馬県がん検診エックス線撮影従事者講習会(4回開催)

## 第1回 9月11日(火) 19:00~21:00

(1)演題名:『放射線被ばく個別相談センターに寄せられた相談事例』

講師:前日本診療放射線技師会専門職 諸澄 邦彦 氏

(2)演題名:『医療被ばく相談Q&A』

講師:前日本診療放射線技師会専門職 諸澄 邦彦 氏  
医療法人石井会 渋川伊香保分院 青木 里佳 氏  
群馬県立県民健康科学大学大学院 五十嵐 博 氏

## 第2回 10月9日(火) 19:00~21:00

(1)演題名:『乳がん検診の現状とマンモグラフィの最新情報』

講師:ぐんまマンモグラフィ向上委員会 新井 敏子 氏

(2)演題名:『乳腺濃度の評価について(仮)』

講師:富士フイルムメディカル株式会社

MS部 営業支援グループ 東日本MSセンター 浅野 省二 氏

## 第3回 11月13日(火) 19:00~21:00

演題名:『胸部XPの読影入門・Part 3』

講師:医療法人社団 高仁会 城西クリニック 名誉院長 松本 満臣 先生

## 第4回 12月8日(土) 14:00~15:00

演題名:『高齢化社会での対策型胃がんX線検診 ~問題点と対策~』

講師:公益財団法人 長野県健康づくり事業団 下平 和紀 氏

第1回~第3回の会場は、県民健康科学大学 多目的ホール

\* 第4回のみ、会場は(公財)群馬県健康づくり財団

なお、12/8(土)15:00から群馬県健康づくり財団主催の講習会も開催予定

受講料(各回):群馬県診療放射線技師会員 無料

非会員(JARTのみの会員、他県技師会員含) 1,000円

主催:一般社団法人 群馬県診療放射線技師会

後援:群馬県 健康福祉部 保健予防課

群馬県立県民健康科学大学 地域連携センター

※渉外広報部、ホームページ等のお知らせは、下記のメールアドレスにてお願いします。

問い合わせメールアドレス [webstaff@gunmart.jp](mailto:webstaff@gunmart.jp)

群馬県診療放射線技師会 ホームページアドレス <http://www.gunmart.jp/>

ホームページ担当 : 群馬パース大学 谷口 杏奈

編集責任者 : 群馬大学医学部附属病院 嶋田 博孝

発行責任者 : 群馬県診療放射線技師会会長 後閑 隆之

事務局 : 〒371-0022

前橋市千代田町1丁目7-4(群馬メディカルセンター内)